2024.5.1現在

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
大阪こども専門学校	平成18年11月24日	山本　稔	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-7-23 (電話)06-4806-6800
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人　三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法及び児童福祉法に基づき、教育・社会福祉専門課程を設置し、 保育士、児童福祉等に必要な知識、技術及び技能を教授し、保育士の養成をはじめ、乳児童福祉業界に貢献する人材育成を目的とする。			
沿革	https://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
こども総合学科	3年	200人	600人
保育科	2年	111人	222人

＜客観的な指標の算出方法＞

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

＜卒業要件について＞

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 尚、卒業要件単位数は31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とし、卒業に必要な要件は科目配当表に示すとおりとする。	
こども総合学科	学園の教育理念に基づき、３年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に応じた保育を実践し、より質の高い保育や社会の発展を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる
保育科	学園の教育理念に基づき、２年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に応じた保育を実践し、より質の高い保育を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる

＜取得可能な資格について＞

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/jobdata/skill.html

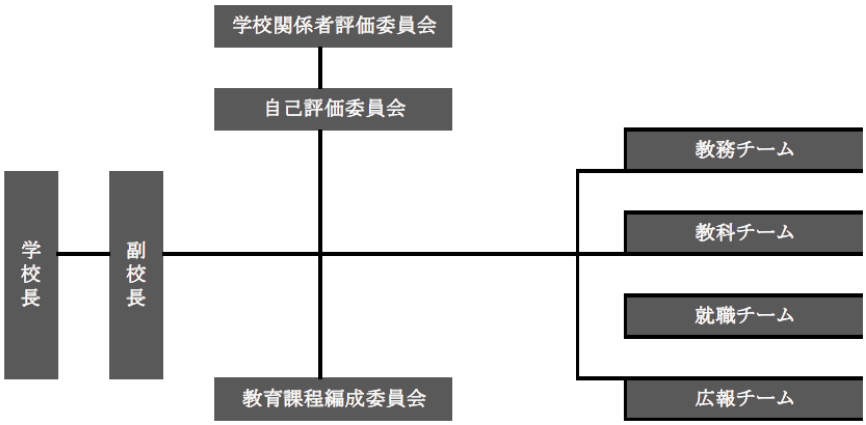
＜卒業後の主な進路について＞

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/jobdata/jobdata.html

③教職員

専任教員	25
兼任教員	41
事務職員	7

教職員の組織



＜教職員の専門性について＞

名前	専門分野	資格・職歴等
畠田　佳子	保育原理・保育者論 等	保育園勤務6年、幼稚園勤務3年
石原　里奈	保育製作	保育園勤務15年
岸本 恵	乳児保育・環境 等	保育園勤務17年
谷口 優香	実習指導・保育課程論 等	保育園勤務28年
中川 裕子	音楽表現	保育園勤務5年（園児への音楽指導）

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/jobdata/support.html
実習実技への取組	保育者としての基本的知識及び保育内容全般等の修得を目的に保育観察実習・保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（保育所以外の施設）、保育実習ⅡまたはⅢ（保育所もしくは施設のいずれか）の３回を実施する。実習生（生徒）は実習期間中毎日実習日誌を指導保育者に提出し、１日の評価と翌日への課題をフィードバックしていただく。当校教員は、実習の前後に電話にて実習生状況や実習内容について意見交換を行い、実習期間中に必ず1度は実習施設に足を運び、直接実習生の様子を確認すると共に指導保育者より生徒の様子や課題の報告をうける。また、実習終了後には施設長（園長）と指導保育者によって実習生に対する評価をしていただき、学内での事後指導に役立てる。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/schoolguide/year.html

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/guidelines/pdf/2504_c_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/osaka-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf